



2012年11月28日

報道関係各位

株式会社クラウド・スコープ・テクノロジーズ

仮想化環境の監視・管理ツール **MoonWalker Version2.4** をリリース インターネットサービスプロバイダー向けに IPv6 の監視機能を提供 監視指標やログ監視機能で Zabbix エージェントと連携可能に

ITホールディングスグループの株式会社クラウド・スコープ・テクノロジーズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：高岡利光、以下クラウド・スコープ・テクノロジーズ）は、仮想化環境をビジュアルに監視・管理する『**MoonWalker Version2.4**』を、2012年12月3日にリリースします。

今回リリースする新バージョンでは、IPv6 サービスを提供するインターネットサービスプロバイダーやデータセンタ事業者向けの IPv6 監視機能とこれまでエージェントレスで実現していた監視機能に、エージェント型の監視方式を新たに追加し、ユーザーの稼働環境に応じた監視サービスを提供します。

I. 新バージョンでの追加機能について

【IPv6 の監視機能】

今回の『**MoonWalker Version2.4**』のリリースにより、**MoonWalker** シリーズでは、IPv6 アドレスを設定された監視対象機器に対する Ping の死活監視機能や、監視対象機器から送出される IPv6 アドレスの SNMP トラップに対応しました。（ただし **MoonWalker** サーバに IPv6 アドレスを付与する必要があります。）この機能により IPv6 サービスを提供するインターネットサービスプロバイダーやデータセンタ事業者の運用を実施するシステム管理者の利便性向上や負担軽減を実現します。

【Zabbix エージェントと連携可能に！】

MoonWalker シリーズではエージェントレス型の監視方式のみを提供しておりましたが今回の『**MoonWalker Version2.4**』のリリースよりエージェント型の監視方式で監視指標（リソース監視の項目）を作成できるようになりました。またエージェント（アクティブ）監視機能を追加し、Windows *1 のイベントログやログ監視を Zabbix *2 で利用される”アイテム”や”キー”の設定により、エージェント経由で取得できるようになりました。これらの機能によりセキュリティポリシー等でエージェントレス型の監視ができない場合や、監視サーバ側の負荷を軽減したい場合等、稼働環境に応じて監視方式を選択することができます。

今回のリリースでは連携可能なエージェントモジュールとして Zabbix Agent バージョン：1.8 に対応しています。

【操作性・利便性の向上】

今回のリリースでは、実際に **MoonWalker** を利用しているシステム運用者より、操作性の改善や利便性向上に関する意見を集め、以下の機能追加や改善を実施しました。

«クライアント画面の操作性向上»

- 各画面でグループ名による検索を追加
- 監視画面の背景画像で扱える画像フォーマットを拡張

«システム運用者の利便性向上»

- 監視指標の最新値一覧参照機能を追加
- **MoonWalker** が標準で定義するイベントのレベルを変更可能

«その他»

- VLAN 監視機能の情報取得処理を強化
- 通知設定機能と計画工事設定機能の強化

II. MoonWalker Version2.4 製品概要

MoonWalker は、サーバ機器やネットワーク機器等の障害情報、統計情報を一元的に管理・監視する統合運用監視ツールです。

運用監視の現場では、サーバやサービスを管理するために特別なツールを複数活用されているのが実態です。**MoonWalker** は管理対象（サーバとネットワーク等）をお客さまの要望に合わせて選択することができ、より簡単に、かつコストをかけずに管理することを目指しています。**MoonWalker** は次のような機能を提供いたします。

«構成管理»

- 物理・仮想サーバ/ストレージ~サービスまでの構成表示
- 直感的で分かりやすい GUI（ネットワークトポロジ・マップ表示）
- ウィザード画面を利用し構成情報の自動取得
- VLAN 設定(VLAN Perfect) オプション

«障害監視»

- エージェント型/エージェントレス型の監視設定
- イベントの関連機能にて迅速に原因分析と影響範囲を把握
- 監視項目のテンプレート機能
- IPv4、IPv6 アドレスベースの Ping 死活監視やイベント監視機能
- VLAN の監視機能（オプション）

«統計管理»

- リソース監視の閾値管理やグラフ化機能

«その他»

- 障害警報のメール通知とインシデント管理
- メンテナンス中のアラーム抑止機能（イベントマスク機能）

【販売開始日】

2012年12月3日

【標準価格】

5,000,000円(消費税別)～

クラウド・スコープ・テクノロジーズについて

クラウド・スコープ・テクノロジーズは、次世代のネットワーク管理・監視・分析システムの開発・販売を目的に2008年7月1日に創設されました。

現在ではネットワーク設計やサービスの見える化技術をはじめ、SaaS/PaaS/IaaS 上仮想システムの管理技術等の研究開発やコンサルティング業務なども行っております。

また、通信事業会社、大規模ネットワークを保有されている企業を中心に監視システム製品 (**Hexa** : 監視・管理機能、**Network Designer** : プロビジョニング機能) の開発・販売を行っています。

IT ホールディングスグループについて

IT ホールディングスグループは、様々なお客様を IT で支援する IT エキスパート集団です。進化し続ける企業グループとして、グループ各社の個性を活かし総合力で応えます。

*1) Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国またはその他の国における登録商標です。

*2) Zabbix とは Zabbix SIA 社が開発を行ないオープンソースで公開されている統合監視ソフトウェアです。

「Zabbix」は Zabbix SIA の登録商標です。

本件に関するお問合せ

株式会社クラウド・スコープ・テクノロジーズ

営業・マーケティング部 長島

TEL : 03-3403-8321

E-Mail : cloud-info@cloud-scope.com Web : <http://www.cloud-scope.com/>